

～ ヨード造影検査（CT・排泄性尿路造影）をお受けになる方へ～

排泄性尿路造影は非イオン性ヨード造影剤を静脈注射して行う検査です。造影剤が腎臓から排泄される特性を利用し、腎臓から尿管、膀胱を評価します。

CT検査では病変の検出や性状の評価に非イオン性ヨード造影剤の静脈注射が必要な場合と不必要な場合があります。必要な際に造影剤を注射しなかった場合には病変を発見できなかったり、病変を正確に評価できない可能性があります。

<非イオン性ヨード造影剤の副作用について>

- ・非イオン性ヨード造影剤の副作用の発生頻度はおよそ3%といわれています。
- ・頻度の多いのは熱感やかゆみ、じんま疹、悪心・嘔吐など軽症のもので、ほとんどは治療を要することなく数分から数時間で消失します。
- ・重篤な副作用としては急激な血圧低下や心停止、呼吸困難などで、何らかの処置・治療を要する頻度は0.04%（1万人に4人）と云われています。国内の約16万8千例の調査では1例の死亡例が見られています。海外の大規模な調査では100万人に2人程度の率で死亡例が報告されていますがこれは交通事故死の確率よりもかなり低いものです。
- ・まれに検査後数時間から数日して吐き気や頭痛、発疹やかゆみ、じんま疹など遅発性副作用のことがあります。ほとんどの場合は特に処置・治療を要せずに治ります

<非イオン性ヨード造影剤検査を受けられる際の注意>

- ・以前の造影検査で副作用の見られた方は副作用のなかった方に比べて重篤な副作用の起こる可能性が約6倍と高く注意が必要です。
- ・アレルギー体質のある方はない方に比較して重篤な副作用の起こる可能性が3倍ほど高いことが報告されています。特に気管支喘息のある方は重篤な副作用の可能性が8～10倍高いと云われています。
- ・重篤な甲状腺機能障害（特に甲状腺機能亢進症）のかたは重篤な副作用の可能性があり注意が必要です。
- ・何らかの重篤な内臓障害（特に心不全など重篤な心臓病）のある方はない方に比べて重篤な副作用の可能性が高く注意が必要です。
- ・脱水状態は副作用の誘因になる可能性があり注意が必要です。水、お茶は検査前であっても必要なだけ飲んでいただいてもかまいません。
- ・腎不全など腎機能低下のある方は腎機能悪化の可能性があります。特に糖尿病で腎機能低下のある方は注意が必要です
- ・ビグアナイド系糖尿病薬を服用中の方で腎機能低下のある場合には重篤な副作用を生じる可能性があります。該当の内服薬を服用している場合には原則として検査前48時間、検査後48時間の休薬が必要であり休薬されていない場合には原則として造影は行いませんのでご了承ください。

ビグアナイド系糖尿病薬 「メタクト配合剤、メトグルコ、グリコラン、メデット、ネルビス、メトリオン錠  
メトホルミン塩酸塩、ジベトス、ジベトンS、メルビン、メタクト」

- ・検査室には看護師または医師が常在し、万一の副作用にもすぐに対処できる体制を整えています。

厚生連高岡病院 画像診断部 TEL 0766-21-3930 FAX 0766-24-8305  
内線 3241（放射線科）、 3336（CT検査室）、 2871（救急室）

～造影検査（CT・排泄性尿路造影）を受けられる方へ～

あなたの（ CT ・ 排泄性尿路造影 ）検査日時は  
年 月 日 午前・午後 時 分頃の予定です。  
検査前の（ 朝食 ・ 昼食 ）は食べないで下さい。

◆検査前の食事は造影検査の場合や検査部位によって制限がありますので担当医または看護師にお尋ねください。  
◆内服薬は通常通り服用してください。検査前は絶食の場合がありますので糖尿病の方は糖尿病薬の服用について担当医にご相談ください。また造影検査を受けられる場合には糖尿病薬の種類によっては検査前48時間、検査後48時間の休薬が必要です。担当医にご確認ください。

◆脱水状態は造影剤の副作用の誘因となる場合があります。検査前でも水、お茶は必要なだけ飲んでいただいてもかまいません。

また造影剤は尿と共に体外に排泄されますので検査後は水分を多くとるよう心掛けてください。

◆排泄性尿路造影は非イオン性ヨード造影剤を静脈注射して行う検査です。CTでは検査目的によって非イオン性ヨード造影剤を注射する場合と注射しない場合があります。必要な際に造影剤の注射をしなかった場合には病変を発見できない可能性や病変を正確に評価できない可能性があります。

◆アレルギー体質の方や重篤な内臓障害のある方でも副作用の可能性が低いと判断される場合や精密検査のため造影剤を用いた方が良い場合には同意のうえで造影剤の注射を行う事もあります。

◆検査中、検査後に気分が悪くなった場合は遠慮なく申し出てください。

◆ごくまれに造影剤の注射後数時間～数日してかゆみや発疹、悪心、頭痛などの症状が生じる場合があります。通常は処置や治療を要せず時間経過と共に自然に消失しますが、もし不都合がございましたらすぐ来院されるか電話でご連絡ください。来院される場合は各科外来、もしくは平日午後5時以降および土・日・祝祭日は救急室へお越しください。

★下記の項目で該当するものに□チェックして下さい。

1) 以前に非イオン性ヨード造影剤の検査を受けた事がありますか □ある、 □ない  
あるとされた方で、検査時または検査終了後に具合が悪くなった方は具体的な症状をご記入下さい。

( )

2) アレルギー体質の有無（喘息、薬や食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など） □ある、 □ない  
あるとされた方は具体的にご記入下さい。

( )

3) 腎機能の異常を云われたことがありますか □ある、 □ない

4) 現在何か重篤な内臓障害がありますか □ある、 □ない  
あるとされた方は具体的にご記入下さい。

( )

5) 下記糖尿病薬を服用されていますか □はい、 □いいえ

ビッグアナイド系糖尿病薬 「メタクト配合剤、メトグルコ、グリコラン、メデット、ネルビス、メトリオン錠  
メトホルミン塩酸塩、ジベトス、ジベトンS、メルピン、メタクト」

必要に応じて非イオン性ヨード造影剤の静脈注射をすることに同意されますか

造影剤の注射に同意する

造影剤の注射に同意しない

厚生連高岡病院 画像診断部 TEL 0766-21-3930 FAX 0766-24-8305

内線 3241（放射線科）、 3336（CT検査室）、 2871（救急室）